

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
〈コメント〉 法人の基本理念・基本方針をホームページに掲載しています。法人の理念に基づいた、園独自の基本理念、保育目標を定めて事務所での掲示を行っています。職員会議等で正規職員へは周知していますが、非正規職員や保護者への周知についての工夫を期待します。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ・b・c
〈コメント〉 法人として業界動向や地域の様々な福祉計画等について理解して、経営環境の把握や経営状況の的確な分析に基づいた事業運営に取り組んでいます。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・ b ・c
〈コメント〉 法人では、保育現場の課題を把握・分析し、具体的な改善に取り組んでいます。改善すべき課題については、全職員への周知に努め、改善意識を共有することが望まれます。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a ・b・c
〈コメント〉 法人では、将来にわたり安定した保育園の経営を維持していくことを目的に、児童福祉分野の業務に関する中・長期事業計画・収支計画を策定しています。現在、中・長期事業計画の見直しを行っているところです。	

I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 法人内に各種の委員会を設けています。各園の代表者が参加して、「食育」や「職員の健康管理」など、具体的な取り組みについて検討して次年度の事業計画を策定しています。</p>	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉 行事の後や、年度末などの節目での振り返りや、日常業務の中で職員から聞いた意見等を参考に、主任・園長が中心となって事業計画を策定しています。計画策定に際して職員の意見を改めて聞く機会を設けるなどにより、職員が参画意識を持つような工夫を期待します。</p>	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 事業計画については、広報誌やメール、イベント時の園長挨拶などの機会を利用して保護者に周知しています。外国籍の保護者には、写真等で分かりやすく説明する工夫をしています。</p>	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 第三者評価を定期的に受審しています。正規・非正規の職員全員が、法人統一のシートにより自己評価を行っています。コミュニケーション、通常業務、事故対応、地域交流、環境整備等の評価項目について評価することで保育の質の向上に繋がっています。</p>	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 各職員が行った自己評価を集計することで、園全体の評価として分析し改善課題を見える化しています。分析結果については法人に提出して、具体的な改善活動に繋がっています。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉗・b・c
<p>〈コメント〉 「保育事務分担表」により、具体的な役割が明記されています。園長は保育現場で職員のサポートに入ったり、広報誌等で役割と責任について情報発信しています。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉗・b・c
<p>〈コメント〉 園長は、法人の会議や市主催や外部の研修会に積極的に参加しています。そこで得た情報を職員会議や回覧などで職員に指導・周知しています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・㉗・c
<p>〈コメント〉 園長は、普段から職員の意見に耳を傾けて、職場の状況把握に努めています。課題や問題等が発生した場合には、率先して自ら対応する姿勢を見える形で職員に示すなどの取組を期待します。</p>		
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㉗・c
<p>〈コメント〉 園長は、働きやすい職場環境に向けて日々取り組んでいます。園長が保育現場のサポートに入ったり、休暇取得や早期退園ができるように声掛けする等の配慮をしています。状況に応じて強くリーダーシップを発揮するなど見える形での行動にも期待します。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉗・c
<p>〈コメント〉 法人として就職イベントに参加したり、ホームページなどで採用募集に取り組んでいますが、なかなか採用には繋がっていないようです。園では非正規職員を活用することで園の運営を進めていますが人員体制の強化が望まれます。</p>		
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a・㉗・c
<p>〈コメント〉 法人で統一した「自己評価シート」により個人の評価を行っています。このシートに上司評価などを加えるなどの工夫をすることで、人材育成の仕組みとしての活用検討を期待します。</p>		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 人員体制に余裕が無いなか、職員同士で協力し合うことで有給休暇が取得できる体制を整えており、以前に比べて休暇が取得しやすい環境になったとの事です。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a・㉡・c
<p>〈コメント〉 園の年度目標を設定し、各職員がその内容に沿った年度目標を設定しています。半年後に目標の達成状況、改善点、新たな目標などを見直していますが、人材育成を意識した仕組みづくりを期待します。</p>		
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 法人の研修組織「わかば会」により年間研修計画を策定して、それを各園の研修担当者が推進しています。県社協が実施するキャリアパス対応生涯研修に職員を派遣して計画的な教育・研修の体制を整備しています。</p>		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a・㉡・c
<p>〈コメント〉 研修機会は多いものの、保育現場での人員体制に余裕が無く十分に参加できる環境とは言えないようです。園では、短時間職員も研修に参加できる環境整備が課題と考えています。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 実習生受入マニュアルを整備して積極的な対応を行っています。実習生それぞれのニーズに対応した実習生デイリープログラムを作成して丁寧に指導しています。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 法人ホームページやWAM-NETにより事業内容や財務情報の情報公開が行われています。第三者評価結果もインターネットで公開するなど、経営の透明性を確保する取組が行われています。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 法人では、外部監査法人による監査を行い、年1回園を訪問して経理処理についての厳しい指導が行われています。法人に対する指導内容についても紙面や施設長会で伝達されています。顧問弁護士からの指導を受ける機会もあります。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 事業計画に「地域との交流」を掲げ、園の地域性に難しさがあるものの、園外に積極的に出向いたり、地域の事業者の協力で「まちかどスタンプラリー」を開催するなど、できる範囲での地域交流に取り組んでいます。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a・㉠・c
<p>〈コメント〉 ボランティア受入マニュアルを整備して、法人本部が窓口となり受け入れを行っています。誓約書などの確認書類については更に充実することが望まれます。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉 関連機関の連携先リストを整理して職員室に設置しています。園長は、市の連絡会や人権教育協議会、要保護児童対策地域協議会に参加するなど、関係機関との情報交換や連携に努めています。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	㉠・b・c
<コメント> 園では地域との交流から福祉ニーズを把握するほか、法人では地域子育て支援拠点事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業、地域活動支援事業等を運営するなかで地域の福祉ニーズを把握しています。		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 法人では、「健康体操教室」や「なしのき健康講座」の開催、普段の買い物が困難な地域の人に向けた「お買い物無料バス」の運行、災害時に地域の避難所を提供するなどの公益的な取り組みが行われています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉 「虐待防止のための自己チェックシート」により、各職員が振り返りを年1回行っています。職員が子どもを尊重した意識を更に向上させるために、研修会や勉強会を定期的に実施することが望まれます。</p>		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉 職員アンケートでは、各職員のプライバシー保護に対する意識の高さが伺えます。保育の各支援場面に関してプライバシー保護に配慮した支援マニュアルを作成するなどにより、職員が統一した意識を持つ取り組みを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉 法人作成のパンフレット、ホームページで理念や基本方針、事業内容を紹介しています。実際に保育の様子を見ていただきながら、園長が保護者の要望に応じた説明を丁寧に行っています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉 保育支援システムや掲示板を活用して情報を発信したり、「入所のしおり」の見直しではイラストを入れて分かりやすくするなどの工夫を行っています。外国籍の保護者には、必要に応じて通訳を交えるなどの個別対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉 法人外の保育園等への変更については、必要があれば都度引継ぎ文書を作成していますが、継続性に配慮した引継ぎの書式を設けるなどを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉 毎日の送迎時に、職員は保護者へ声掛けをすることで、満足感や意見を聞く機会としています。行事の終了後にはアンケートを実施していますが、普段の保育への意見や要望なども同時に聞く項目を追加するなどの工夫を期待します。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>苦情解決体制についての文書を玄関の分かりやすいところに掲示しています。「苦情記録簿」を整備して、対応した結果については保育支援システムや掲示板などで公表しています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>保育支援システムを通して、保護者からの意見や相談を受ける事ができ、送迎時や電話などいつでも相談を受けており、保護者と何でも相談できる関係ができています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		a・㉠・c
<p>〈コメント〉</p> <p>保育支援システムでの相談内容は、全職員が閲覧可能であり、迅速な対応ができる仕組みがあります。送迎時に相談があった場合には、保育システムに内容を記録していますが、別途、文書などで分かりやすく管理する工夫を期待します。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人の事業計画に「危機管理および安全対策の強化」を掲げています。ヒヤリハットや事故が発生した場合には、担当者、主任、園長が要因分析、再発防止策を検討して即時の対応に努めています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人の感染症対策委員会が月1回保健指導の会を開催し、各保育園では子どもへの啓発と周知を行っています。各種の感染症マニュアルを整備して研修などで知識のアップデートを図っています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>事業継続計画（BCP）を策定しています。「備蓄リスト」ではアレルギー対応の非常食を3日分保管しています。職員の安否確認はメールで行い、保護者とは保育支援システムを活用しています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉 保育指針等に基づいた保育を進め、職員同士で相談しながら子ども一人ひとりに配慮した保育を行なっています。一部、保育支援マニュアルはありますが、その他の保育場面に対応した保育支援マニュアルの整備と職員への周知を期待します。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉 月案の指導計画見直しの際に、標準的な実施方法についても見直しする機会がありますが、標準的な実施方法の文書化を更に進め、定期的に内容を見直す仕組みづくりを期待します。</p>	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉 保育支援システムを活用してアセスメントを行っています。入所時の個別ニーズヒヤリングや普段の保護者ニーズ等についてアセスメントを実施して指導計画の策定に繋がっています。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉 計画内容については、乳児担当職員などと意見・情報交換しながら、職員と主任、園長により計画の見直しを毎月行っています。</p>	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉 子どもに関する毎日の記録は、保育支援システムに入力して職員間で情報共有しています。記録内容や書き方については主任、園長が確認して指導しています。</p>	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉 個人情報規定、文書保存規定等を定め、厳格な取扱いの指導が行われ、機密書類は施錠管理しています。保育支援システムの導入で写真などを多用する機会が増えたことから、職員だけではなく保護者や実習生にも取扱いに関する理解を得るようにしています。</p>	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	a・ ③ ・c
<p><コメント> 以前は、地域の敬老会と、歌の発表会や手作りプレゼントをするなどの交流を行っていましたがコロナ禍で中断しています。園では今後の取り組みについて検討しているところです。</p>		
Ⅳ-1-②	子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	③ ・b・c
<p><コメント> 地域の方とは、家庭菜園で保育園の野菜を栽培協力していただいたり、散歩時の挨拶、災害時には子どもの避難に協力してもらうなど、地域連携に取り組んでいます、</p>		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	a・ ③ ・c
<p><コメント> 子どもには、紙芝居などで「物を大切にする」「水はこまめに止める」などの身近な環境保護について意識する様に働きかけていますが更なる取り組みを期待します。</p>		